

食品新技術研究会 第 22 回例会

コンピュータ・シミュレーションの進展と社会実装

主催：一般社団法人 日本食品工学会 インダストリー委員会

食品工学会は工学的な立場から食品に関する諸問題の解決を目指す実学を担います。製造現場で多用される攪拌や移送のような単位操作であっても、生産機とテーブルテストのスケールギャップが埋められず、新規立ち上げに苦勞する悩みをお持ちでしょう。解決法として、流体シミュレーションの有用性は理解されつつも、導入への関は高く、活用が行き届いていないのが実情です。

ハードルの一つである計算領域の設定（メッシュ生成）を省き、計算点自身が動く粒子を用いる「粒子法」が進展し、自由表面流れのような従来難度の高かった計算が、比較的容易に実施できるようになってきています。そこで今回は他分野で進展する先端技術を食品産業へ実応用するイマジネーションを膨らます機会として企画させていただきました。

はじめに粒子法の第一人者であり、MPS法(Moving Particle Simulation Method)を開発された東京大学大学院 越塚誠一教授をお招きし、粒子法の特徴や最新研究成果をご解説いただきます。また、プロメテック・ソフトウェア株式会社 藤本峻様より MPS法を直感的、かつ、高速に利用できる流体解析ソフトウェアを用い、製造業の設計・開発現場で実用されている事例を中心にご紹介いただきます。

本研究会は、インダストリー委員会に属しますが、日本食品工学会会員の皆様に広く公開しております。多数のご参加をお待ちしております。（要参加登録）

○日 時： 2018年11月15日（木曜日） 15:00～17:30

○場 所： 東京海洋大学 品川キャンパス

白鷹館2F多目的室（品川駅港南口・東口から徒歩10分）

○参加費： 正会員；2,000円 / 学生会員；無料

（当日徴収：できるだけお釣りの要らないようご協力ください）

○プログラム：

1. 「粒子法シミュレーションの研究の最先端」

越塚 誠一 （東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 教授）

2. 「流体解析ソフトウェア Particleworks の適用事例のご紹介」

藤本 峻 （プロメテック・ソフトウェア株式会社 CAEソリューション部）

ン部)

3. 総合討論

交流会（17:30～、参加者は交流会無料） 東京海洋大学 生協食堂内にて

○参加登録方法： 食品新技術研究会 第22回 幹事 梅津，有泉 宛
11月7日までに toru_umezu@kewpie.co.jp， masahiro_ariizumi@kewpie.co.jp
の両名にメールでお申し込み下さい。
*お申し込みの際は，お名前，ご所属，日本食品工学会会員番号と，交流会への
参加の有無についてご連絡下さい。